

ジビエ利用モデル地区「鳥取県東部地区」の取組概要①

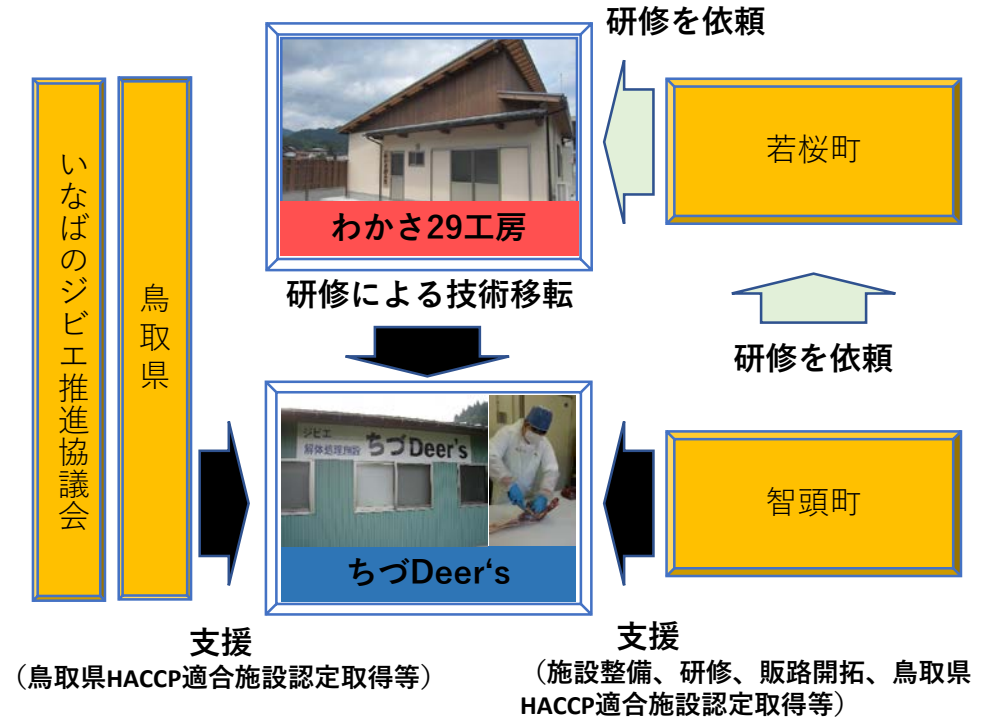
モデル地区の構想

- 県HACCP適合施設であり全国有数の品質と処理頭数を誇る「わかさ29工房」の解体処理技術等を、地域の新規処理加工施設「ちづDeer's」に移転し、「いなばのジビエ」のブランド化を促進。

特徴的な取組

「ちづDeer's」のH30年4月の開業に向けて、従業員の解体処理技術及び衛生管理技術の習得が課題であったため、

- 智頭町が若桜町を通じて「わかさ29工房」に「ちづDeer's」への研修を依頼（智頭町が県単事業を活用し研修費用を支援。）。
- 研修期間はH29年7月～12月の6ヶ月間で、1日の研修時間は7時間程度。
- と体の受入から一般消費者向け商品加工まで順に研修を実施。
- 従業員の作業補助から徐々に作業全体に移行し、技術習得状況を見て順次追加（指導する者が作業中に常に見ているため、研修で使用した個体も破棄せずに出荷でき、研修場所である「わかさ29工房」にも損失が生じない。）。



モデル地区の各体制



ジビエ利用モデル地区「鳥取県東部地区」の取組概要②

コンソーシアム名

いなばのジビエ推進協議会 ジビエ倍増モデル推進委員会

コンソーシアム構成員

- いなばのジビエ推進協議会〔代表、事務局〕
- 加工処理施設
 - わかさ29工房
 - ちづDeer's
- 鳥取県
- 岩美町、若桜町、智頭町、八頭町
- 智頭町百人委員会獣害対策部会
- (株)鳥取銀行
- 道の駅若桜桜ん坊
- (株)サンマート 等

ジビエ倍増モデル整備事業取組内容

推進事業

取組内容
広域回収実証試験
商談会への参加等
旅行業者等招致
商談用パンフレット作成等
肉質判定支援アプリ開発等
画像判定に係る謝金